

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-243887

(43)公開日 平成11年(1999)9月14日

(51)Int.Cl.⁶

A 23 L 1/16

識別記号

F I

A 23 L 1/16

B

審査請求 未請求 請求項の数3 書面 (全3頁)

(21)出願番号

特願平10-92166

(22)出願日

平成10年(1998)3月2日

(71)出願人 593195336

久保沢 金之助

千葉県山武郡山武町大木577番地12号

(72)発明者 久保沢 金之助

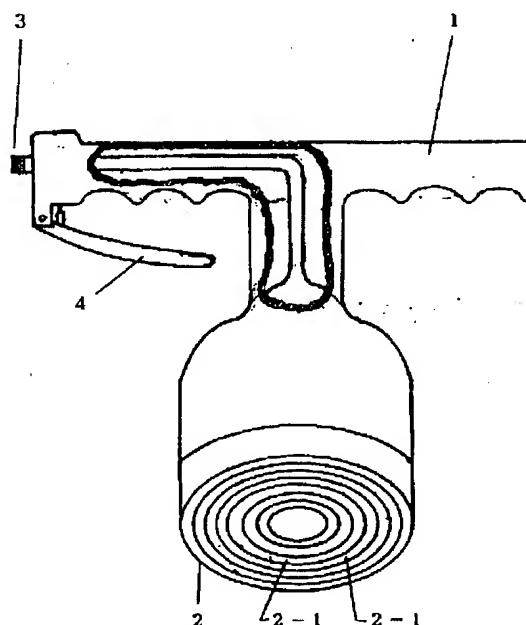
千葉県山武郡山武町大木577番地12号

(54)【発明の名称】 リング麺、リング変形麺製造装置。

(57)【要約】

【目的】 本発明は、従来のうどん、ソバのように1本の直線状の麺でなく、外国人にはホークで、子供には、夢と想像力を高め、楽しみながら麺が食べられる麺を製造することを目的とする。

【構成】 麺の型に、1本の繋がったリング麺を基本とし、文字、動物画、車、自動車画、人物画、絵画、風景画、マンガのエラスト、日常品の一部など変化を持たせた麺の製造装置。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 本体(1)のリング麺製造、リンク変形麺製造装置に金型(2)を設けた本体(1)の内面の金型(2)の刃先で板麺(6)に、本体(1)で圧力プレスを加えて、板麺(6)を金型(2)の切り歯で、金型(2)と金型(2)の間で金型模様に切断して、一本の糸状に繋がったリング麺(5)、リング変形麺(7)が出来る、リング麺、リング変形麺製造装置。

【請求項2】 板麺(6)を3重、4重に積み重ね合わせた一食分の板麺(6)の量に、金型(2)の金型切り歯をのせて、本体(1)で圧力プレスを加え、板麺(6)は、金型(2)と金型(2)の間で切断され、リング麺(5)、リング変形麺(7)が(2-1)に製造される。金型(2)と金型(2)の金型模様に定着した(2-1)の麺を、イヤー取り入れ口(3)のレバー(4)をON-OFF操作し、イヤーの圧力が(2-1)の麺を押し出し、一食分の麺を製造する、リング麺、リング変形麺製造装置。

【請求項3】 本体(1)に設ける金型を、絵画、人物画、文字画、自動車画、リングなどとし、一本の糸状に繋がった麺が製造される、リング麺、リング変形麺製造装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、日本の伝統、古代から試食の麺類を、食の文化として、世界に伝いでいく、箸だけでなく、ホークでも食べやすく、子供には、夢と想像力を高め、幼児、高齢者、身体障害者の方も食べやすく、食べることの楽しさを与える麺の製造に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の麺の製造は、ウドン、ソバのように1本の直線状の麺の製造方法。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の麺の製造は、1本の直線状のものであるため、麺に変化がなく、外国人は食文化の関係で、箸では食べにくく、幼児、高齢者、身体障害者も食べにくく麺を食べる楽しさがない。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、麺の形にリングを基本として、文字、動物画、車、自動車画、人物画、絵画、風景画、マンガのエラスト、日用品の一部など、変化をもたらした型を使用した麺の製造装置とする。

【0005】

【発明の効果】本発明は、以上説明したように構成されているので、以下に記載されるような効果を奏ぐる。

【0006】本発明の、糸状に繋がったリング麺、リング変形麺製造装置で作った麺は、外国人はホークで食べやすく、幼児、高齢者、身体障害者の方でも食べやすく、楽しみながら、麺を食べることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】リング麺、リング変形麺製造装置の全体図

【図2】リング麺、リング変形麺製造装置に設けたリング麺の金型の断面図。

【図3】金型内に作られたリング麺の断面図。

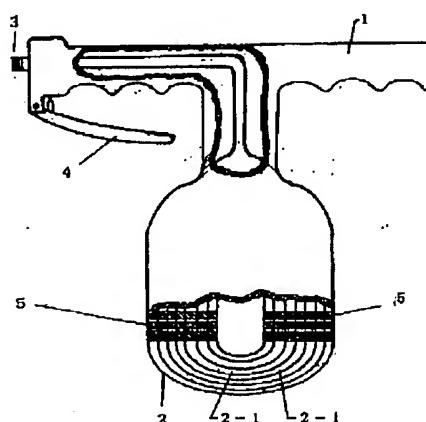
【図4】リング麺用板麺

【図5】製造されたリング麺を示す。

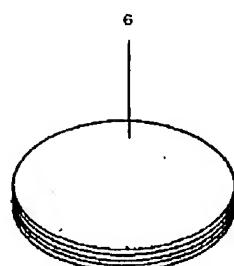
【符号の説明】

1	リング麺、リング変形麺製造装置の全体図
2	金型切り歯
2-1	麺収容部
3	空気取り入れ口
4	空気取り入れ用レバー
5	リング麺
6	リング麺用板麺
7	リング変形麺

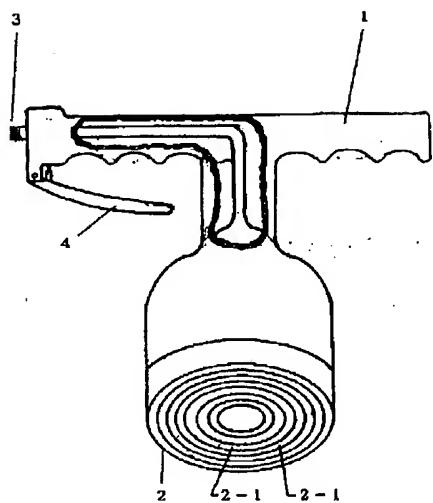
【図3】



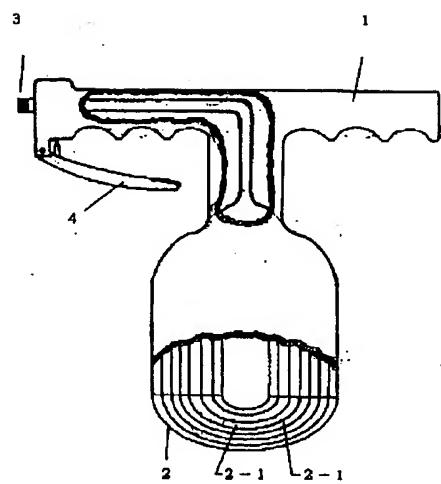
【図4】



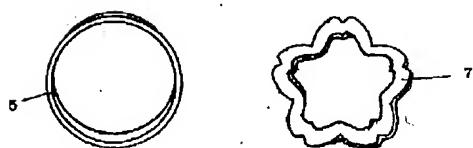
【図1】



【図2】



【図5】



PAT-NO: JP411243887A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 11243887 A
TITLE: DEVICE FOR PRODUCING RING NOODLES OR
RING-DEFORMED NOODLES
PUBN-DATE: September 14, 1999

INVENTOR- INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KUBOSAWA, KINNOSUKE	N/A

ASSIGNEE- INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KUBOSAWA KINNOSUKE	N/A

APPL-NO: JP10092166

APPL-DATE: March 2, 1998

INT-CL (IPC): A23L001/16

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide noodles having a shape different from the linear shape of conventional noodles or buckwheat noodles and capable of being eaten by a foreigner with a fork or by a child in a state enhancing his dream, imagination and enjoyment.

SOLUTION: This device for producing ring noodles or ring-deformed noodles has a noodle mold comprising endless ring type noodle base shapes which are, if necessary, each partially deformed into a shape of a letter (character), an animal picture, a car, a car picture, a person picture,

painting, a landscape,
a comic illustration, a part of daily necessities, etc. A
meal of noodles are
prepared by putting the cutting blades of a mold 2 on a
meal amount of plate
noodles comprising triply or quadruply piled plate noodles,
and subsequently
adding a pressure to a main body 1 to cut the plate noodles
between the cutting
blades of the mold 2, thus producing the ring noodles or
ring-deformed noodles
in noodle-receiving portions 2-1. The noodles formed into
the patterns of the
molds 2, 2 and received in the noodle-receiving portions
2-1 are extruded with
air pressure obtained by the ON-OFF operation of the lever
4 of an air intake
3.

COPYRIGHT: (C)1999, JPO